

2024・1・31リニア山梨実験線騒音視察に行ってきました。

……まず感じたのはこれは大人のおもちゃ 夢想辯天

東京から最終的には大阪までガイドウェイの推進コイルと案内コイルに銅線巻きコイルをU字溝の両脇に敷き詰めて並べ、車両には超電導磁石にニオブチタン合金を使い液体ヘリウムで常時マイナス 269 度に保ってようやく走るのです。先ずそれだけの施設を造るのにどれだけの資材を投ずるのでしょうか？ つい最近の大地震やゲリラ豪雨で生活インフラが破壊されて、その為の資材が枯渇しているのに、こんなものを作る必要があるのだろうか？ というのが私の抱いた疑問です。こんなものは遊園地で子供と遊ぶ「遊具」です。万が一出来ても、隆起する南アルプス直下を走行中に能登半島沖地震で地盤隆起があったように南海トラフ地震で起こらない保証は無いのですから、とても心配になりました。乗客全て生き埋めになり非常トンネルを自力脱出できるのだろうか？ ガイドウェイが破損しない訳はないしそのメンテナンスだけでも莫大になり、補償金支払いで JR 東海株主も黙ってはいないでしょうね。

